

月次報告書

(令和5年3月度)

1. 所感 ～「贖」(はなむけ)～

弥生3月は卒業の季節です。多くの若者たちが、希望に胸を膨らませ新たな世界へと旅立っていきます。成長した姿を心強く思う反面、一抹の寂しさも付き纏います。喜びと憂い、安堵と気がかりが入り交じります。幸多からんことを祈るばかりです。

弥生は旧暦3月の和風月名で、「草木が弥(いよいよ)生い茂る」という意味だそうです。このほか3月には「花咲月」、「花見月」、「春惜月」、「桃月」、「夢見月」、「清明」など、異名や別称が多く言われています。草木が芽吹き百花繚乱のこの季節ならではの月名ですが、この季節に対する人びとの様々な思いを物語っているのでしょうか。寒い冬がようやく終わり、待ちに待った春の訪れに対する悦びと、夢と希望に満ち溢れた美しき未来への、心情の発露であります。

さて、2月6日にトルコ・シリアにて大地震が発生し、大勢の方が罹災されました。犠牲になられた方へのご冥福をお祈りいたしますとともに、被災されたみなさまに心からお見舞い申し上げます。日本からも緊急救助隊をはじめ物資の支援や医療チームの派遣が行われております。今から133年前の1890年、和歌山県沖でトルコ軍艦「エルトゥールル号」が遭難。住民が乗組員を救助、日本の軍艦によって帰国しました。官民挙げての救助活動にトルコ国民は日本に対して親愛の念を抱いたそうです。遭難事故から95年の時を経た1985年のイラン・イラク戦争の時には「エルトゥールル号の恩返し」として、トルコ航空機が自国民より優先して日本人を救出。“まさかの時の友こそ真の友”などと言います。今度は私たちが、力になりたいと感じずにはられません。

あたかも3月11日で東日本大震災から12年になりました。この3月に小学校を卒業される皆様、進学おめでとうございます。1歳に満たない幼い子や大きなお腹の中で避難生活を余儀なくされた皆様のご苦労は大変なものであったことでしょう。私は他者を思う気持ち、災害へ備えることの大切さを新たにしました。

新たな門出を迎える諸君へ、「穏やかなれ」と祈り、心からエールを送り贖といたします。

2. 行事等（令和5年2月）

開催日	行事名
3日（金）	事業推進検討委員会
24日（金）	長期就業是正検討委員会
27日（月）	正副理事長会議
28日（火）	巡回指導/2月度安全・適正就業推進委員会

3. 業務遂行上の留意点

●住宅用火災警報器を点検しましょう！

◎消防法の改正により、住宅用火災警報器の設置が義務付けられてから10年以上が経過し、せっかく取り付けられた住宅用火災警報器も、いざという時に正常に作動しなければ意味がありません。

☆経年劣化や電池切れにより正しく作動しないことも！！

☆住宅用火災警報器の電池の寿命の目安は約10年！定期的な作動確認を！！

4. 事業実績

		令和5年2月	前年同月	累計進捗	前年同月累計進捗
登録会員数（人）		336	341		
受託件数 （件）	請負	136	111	2,062	2,315
	派遣	13	9	103	84
契約金額 （円）	請負	6,561,696	5,328,873	88,965,577	102,613,634
	派遣	1,700,963	1,178,647	17,638,033	13,766,650
就業実人数 （人）	請負	164	165	237	235
	派遣	29	25	47	40
就業延人数 （人）	請負	1,601	1,456	20,938	22,855
	派遣	349	228	3,459	2,601

5. 会員の入会（令和5年2月1日～28日）

新入会員		
会員No	氏名	所属地域班
2139	石崎 晴代	南部 駒形・忍班
2140	田崎 信子	北部 星河北部班
2141	江原 芳雄	南部 中央・佐間班
2142	水越 達枝	南部 埼玉西部班
2143	金久保 伸一	東部 太田班

手づくりサークルむつみからのお知らせ

今回は、かわいい洗濯バサミ猫ちゃんを作ります。

- 日時 3月24日（金）午後1時30分から
- 費用 100円

※希望する方は、男女問いませんので3月22日（水）までに事務局に申し込み下さい。男女問わずご参加をお待ちしております。

入会時オリエンテーションのお知らせ

入会されました会員を対象に、入会説明会で説明出来なかったセンター事業や就業に関する詳細について説明会を行うものです。

また、簡易的な面談やこれからの就業に係る説明を行いますのでご参加ください。

日時：3月23日（木）13時30分～

場所：センター 講習室

